

令和元年10月31日現在
世帯数……2,511戸
男 性……3,549人
女 性……3,793人
合 計……7,342人

発行／庄原コミュニティセンター

出雲市張川町北原3835 (電話)72-4600 (FAX)72-4602

No.188
2019.11.20

郷土

つながる庄原 笑顔の未来
活かそう 人を 歴史を 資源を

10/29
(火)

「月山富田城を攻めよう!!」 標高183.8m

歴史探訪 まちづくり部

難攻不落の富田城を攻めていくコース(登山道)は三コースあり、中央の「御子守口」東の「菅谷口」南の「塩谷口」です。その日は中央の中谷という谷を通して「御子守口」から攻めていきました。山中御殿、三の丸、本丸を通して山頂をめざしました。戦国時代に本丸での複雑な経路、堅牢な石垣など防衛上の工夫が随所に施された山城をどのように造ったのか等学びました。山頂からの景色は素晴らしく、遠くは中海、安来平野などを一望できます。宍道先生の巧みな話術に引き込まれ、戦国時代にタイムスリップした気持ちになりました。秋晴れの気持ち良い一日で身心共にリフレッシュできました。また、現代を生きる私たちはもっと生きる力をつける必要があると強く感じました。



10/19
(土)

文化祭 講演会
「維新十傑

庄原地区文化祭

前原一誠と島根」

庄原地区文化祭実行委員会

講 師:宍道正年氏
特別展示:10月19日(土)・20日(日)



西郷隆盛、大久保利通などと名を連ねる維新十傑の一人でありながら、「前原一誠」の名前はあまり知られていません。前原一誠は戦国時代、尼子氏・毛利氏に仕えた米原氏・佐世氏の子孫で、富田城攻防において重要な地点であった庄原の高瀬城城主 米原綱寛も先祖にあたります。今回文化祭では「前原一誠」にスポットを当て、全国初の特別展と講演会を開催しました。日本を平和にしたいという熱い志を持って、1876年(明治9年)いわゆる「萩の乱」を起こしましたがあえなく失敗、大社町の宇龍港で捕縛され松江刑務所に護送された後、境港を経て美保関から萩へ、そこでついに志半ばで切腹。

特別展示には、松江刑務所での取調書、扁額、島根県内で最後に書かれた遺墨掛け軸など、門外不出の貴重な資料の数々の品が展示され、講師の宍道氏による丁寧で分かりやすい展示解説が4回行われました。

講演会、展示そして展示解説により、短い人生を駆け抜けた前原一誠の誠実さ、人柄の良さがひしひしと伝わってきました。わずかな期間ですが松下村塾の門下生であった前原一誠を吉田松陰は、「前原は高杉、久坂の才知には及ばないが、人間の完全なることは二人の比ではない」と評したそうです。皆さん熱心に聴講、展示見学をし、私たちの地域にゆかりのあるこのような偉人の存在があったことが、強く印象に残ったのではないのでしょうか。

荘原地区文化祭

荘原地区文化祭実行委員会

文化祭のお礼

コミセンの各専門部の部員の皆さんには運営を、教室・サークルの皆さん他たくさんの方々に数日前からの準備や当日の運営などにご協力いただき、素晴らしい文化祭にさせていただきありがとうございました。当日はたくさんの町民の皆さんにご来場いただき文化祭を盛り上げていただき厚くお礼申し上げます。今年の文化祭は、矢道正年先生による荘原ゆかりの先人である維新十傑前原一誠の講演と全国初の特別展の展示解説をしていただきました。他に斐川東中吹奏楽部の演奏、スイーツさんのコンサート、教室・サークルの発表会、あべゆうじさんのコンサート、人権標語表彰、各種展示やバザーなど、荘原の文化の盛り高い文化祭となりました。また、保育園、幼稚園の園児の皆さんは焼き芋販売のかわいい店員さんとして、小学生の皆さんは、田植えと刈り取りをしたあいがも米の販売とスーパーボールすくいのボランティアとしてたくさん参加してくれました。子どもたちが参加してくれるととても賑やかで和やかな文化祭になります。今後ともたくさんの子どもたちに関わってほしいと願っています。

10/19 (土) 10/20 (日)

荘原地区文化祭

荘原地区文化祭実行委員会



令和元年度文化祭バザー収益金を被災地に寄付いたします。
(出雲市社会福祉協議会を通じて)

バザー(寄物の不用品より) 23,600円
スーパーボールすくい 11,950円
あいがも米、焼き芋 5,000円

9/11 (水)

荘原子どもエコクラブ

エコ田んぼをつくろう～稲刈り～ 自主企画事業

9月に入ってもとても暑い日でした。2年生は往復1時間20分かけて歩いて田んぼに通います。前日にはエコクラブの皆さんではでばづくりをし、稲刈りに備えていました。

稲刈りを体験している子どもは少なく初めて持つ鎌に戸惑っていましたが、だんだん慣れてザクザクッと小刻みに稲穂が切れる音がしていました。まとめた稲をはでばにかけ11月末の餅つきを楽しみに学校に帰りました。10月の文化祭には地域の方にエコクラブと2年生でもち米の販売もしました。11月29日に餅つきをして育てたもち米をいただきます。



9/4 (水) 10/2 (水)

まちづくり部

歴史講座 「出雲平野の形成と発展」

講師：池橋達雄 氏



古地図を見ながら、2回に亘りお話を聞きました。出雲平野と斐伊川との関連など、初めて知った内容も多く、理解も深まりました。

また、具体的な地名などを挙げてのお話でしたので、ふるさとのことを見直す良い機会になりました。



9/10 (火)

ふれあい交流部

新聞紙で作るエコバッグ 第2弾

自主企画事業



好評につき、第2弾を開催することとなりました。作っている間は皆さん夢中。講師の田中明子さんは、これをエコバッグとして使った後は、ゴミ箱として再利用されるのだとか。そうした活用法など話し合いながら、楽しい会となりました。



9/24 (火)

こども倶楽部

さつまいも掘り 自主企画事業

荘原幼稚園、東部保育園、荘原保育園の園児の皆さんが、6月に荘原コミセンのこども倶楽部の皆さんと一緒に植えた「さつまいも」を掘りました。こども倶楽部の皆さんに、芋を掘りやすいように茎や葉っぱを切ったり、スコップで下準備をしていただきました。「大きいのがあった!」「重ーい!」「こっちも掘って」など、あちこちから元気な声が上がりました。秋晴れのもと、園児たちは「芋掘り」を通して自然を体で感じ恵みの秋を満喫しました。掘った芋は、園に持ち帰りクッキングを楽しみ、また荘原地区文化祭ではかわいい店員さんを務め焼き芋屋さんを開店しました。



9/10
(火)

令和元年度 通学生マナーアップ キャンペーン

庄原地区青少年育成協議会

9月10日(火)庄原駅にて、「通学生マナーアップキャンペーン」が行われました。これは西日本旅客鉄道株式会社からの依頼により、島根県の関係機関、教育委員会、学校、警察、青少年育成団体などが連携を取り実施されるもので、駅や列車内でのマナー向上を通学生に呼びかけるものです。このキャンペーンが学生に限らず誰もが自身のマナーを見直すきっかけとなると良いですね。



10/12
(土)

大黒山 自然観察

自主企画事業



台風の影響のため中止

庄原小学校PTA保体部さんと共催で大黒山自然観察を企画しました。昨年は、佐藤仁志先生に植物や自然のことについてお話をしていただきながら歩きました。葉っぱの遊びかたを聞き童心に返りました。今年は、ぜひ小学生親子に自然と触れ合いをしていただきたと計画していましたが、台風19号の影響のためやむなく中止をすることになりました。今年度はその後予定がたたず、来年度ぜひ企画したいと思います。ぜひ参加していただきたいと思います。

9/18
(水)

9/20
(金)

の3日間 東中職場体験学習

今年度は、二人の生徒さんに職場を体験していただきました。礼儀正しく一生懸命に3日間務めていただきました。「おいでませの会」やはつらつ体操、カローリングなどに参加してもらい、参加者の皆さんには、若いパワーをもらったととても喜んでいただきました。若い人の持つ力は素晴らしいと改めて感じたところです。その他、文化祭関係のチラシ作り、文書配達の準備などの事務仕事も体験してもらいました。中学生が地域の人や地域の事柄、地域づくりに関わっていただくことはとても有意義なことだと思います。職場体験学習を通して、故郷の良さを感じていただけたらうれしく思います。



10/27
(日)

第6回 庄原・出東一斉クリーン大作戦

出雲市環境保全連合会庄原支部

さわやかな秋晴れのもと、第6回庄原・出東一斉クリーン大作戦を開催し、500人を超える参加がありました。6回目を迎えたこの活動は地域のみなさんに定着しつつあります。場所によってゴミの増えた所、減った所がありますが、少しでも地域がきれいになるように活動が続けていくことも大切であるけれどゴミを捨てないことがもっと大事です。



クリーン大作戦

好きスキ・荘原、好きになる

アンケートの回答をもとにした考察～ご協力に感謝



2019年10月 荘原コミセンまちづくり部／元気な斐川を創る会

10代から80代まで男女272名が見た「住みたい荘原にするために思うありのまま」のアンケート（今春実施）から一部を紹介するので、ご覧ください。ひとは環境のなかで生き、私たちは荘原というひとつの環境に暮らします。同じように見えても、十人十色で荘原は違うのです。

01 もの環境

☆ 雰囲気、交通、公共機関、買物など物理的な環境

- 適度に人も多すぎず、ごみごみせず、いい感じの田舎感が好きな人がいます。狭苦しい大都会で暮らすことはない、選ぶ幅があり過ぎるのも困る。都市へは行きたいときに行けばよい、交通の便もいいのですから。
- スーパーの数があって買物に便利だという意見とは反対に、人が集まる大規模施設を！という考えもあります。確かに荘原の中心軸は見え、荘原駅の周りも寂しい。病院や店舗など車で行けば出雲市内でも近いという人もいれば、歩いて行ける距離でないと遠いという人もあります。意見は一致しません。
- 公園は遊具付きか、ただ広いのがいいのか、意見は分かれます。JRはありますが、使わないとやがてバスのように便がなくなります。新川道路がデコボコで危ないという意見に賛成です。
- カフェがない、本屋が少ない、大人の居場所が少ない、確かにそのとおりです。高校がないのを不満とする意見も多いですが、自立の一步としてわが子を域外に出すのもよいと思いますよ。



02 じょうほう環境

☆ ネットや井戸端会議、イベント、広報など情報面の環境

- イベントがたくさんあってよい、一方で少ないという意見もあります。主催者にも限界があり、若い世代の連携と行動が期待されます。
- マルシェ、よさこい祭り、トラック市など新しいイベントも、昔ながらの祭りや遊びも提供していきたいですね。SNSでの地域情報発信は不可欠の時代となりました。無線放送がわかりにくいという声は多いです。
- 地域のことを来訪者や新住民に紹介する案内書があると助かるという声もありました。防災マップがわかりにくいというのは、聞き捨てならない意見です。
- 明るい町にしたい、がんばる（10代男性）という頼もしい意見もありました。荘原を魅力ある町にするために共に考え、行動しましょう。



03 こころ環境

☆ 自分の気持ちや人どうしのつながりなど精神的な環境

- 周囲にいいつながりがあると、心安く何かと助けられます。気軽に通りすがりの人にもあいさつできます。子育てするには安心できて、いざ災害となれば力を発揮できるでしょう。
- 嫌な噂を流されたり、根拠の無い噂を流される、生きづらいこともあります。田舎独特の閉鎖的な考えがあって、よそから来ると住みにくいとは率直な意見です。
- ものごとには両面があります。干渉や見守り 閉鎖性や守りに強い、という具合です。足りなくて不便だからこそ良さもあるわけで文句を言うのは筋違いという意見もありました。



04 ☆心のシャッターを開き、課題にチャレンジするのは私たち自身

- 課題解決にチャレンジすると地域環境は変わります。笑顔が広がります。地の人は新米の人を受け入れ、来た人は地域に溶け込む。互いが心のシャッターを開いて声かけから始めましょう。今のあなたにもできます。
- 荘原の活性化のため大切なのは、ふるさとに生きる私たちの生活を守りはぐくむ覚悟を誰もが持つことだと考えます。課題解決のために荘原コミセンは努力を惜しみません。
- 環境をつくるのは私たち自身です。ほかの誰かがやってくれるわけではありません。わが町荘原のいいところを見つけ好きになりましょう。何かが見えてくるはずです。あなたにできることで社会貢献してみませんか。



タウン
ミーティング
参加者
募集

しょうばら（ひかわ、いすも、しまね）の良いところを見つけ、これからの生活が自分にとって心地よくなり、また、地域が住み心地のよい場所となるようにタウンミーティングをします。多くの皆さんの参加をお待ちしています。

日時：令和元年12月14日（土）10:00～12:00
場所：荘原コミュニティセンター集会所
参加申し込み：荘原コミセン 電話72-4600
FAX72-4602

電話・FAXをお願いします。
お申し込みの際には、氏名・電話（できれば携帯電話）をお知らせください。

参加費
無料

10/8
(火)

1班
東部保育園

10/24
(木)

2班
荘原小1年生

10/25
(金)

3班
荘原小1年生

おいでませの会 ふれあい交流会

「おいでませの会」の会員とボランティアのみなさんが、東部保育園園児のみなさん・荘原小学校1年生のみなさんと一緒に交流しました。

園児、児童の元気な歌やダンス、質問タイムの後には一緒に手遊びをしたり肩たたきをしてもらって癒されタイム。子どもたちは、「おじいさん、おばあさんと一緒に話したり遊んだりして楽しかった。」「肩たたきをして喜んでもらえて嬉しかった。」などと感想を述べていました。

核家族が増える中、この交流は子どもたちにとっても会員・ボランティアさんにとっても有意義な時間になったようです。



1年生との交流(おいでませの会)

荘原コミュニティセンターよりお知らせ Information

おいでませの会ボランティア募集

荘原コミュニティセンターでは月に3回(第2火曜日、第3木曜日、第4金曜日)に「おいでませの会」サロンを開催しています。概ね70才以上の高齢者さんとボランティアさんと一緒に楽しい時間を過ごしています。保育園、幼稚園、小学生との交流や健康体操、講演会、新年会等の活動をしています。令和2年度のボランティアさんを募集します。興味のある方はぜひ荘原コミュニティセンター(TEL 72-4600)までお問い合わせください。男女、年齢は問いません。心よりお待ちしております。

**ボランティア
募集中**

喫茶やまもも クリスマス会

○日 時：令和元年12月12日(木)
9:30~12:00

○場 所：荘原コミュニティセンター 集会室

○喫茶代：500円

今年度のクリスマス会もみなさんに楽しく過ごしていただける企画をしています。スタッフ一同皆様のお越しをお待ちしています！



申し込み：荘原コミュニティセンターまで
電話にてお申し込みください

電話 72-4600

年末年始の利用について

荘原コミュニティセンター

12月28日(土)から1月5日(日)まで
一般業務、貸館業務はお休みします。

リサイクルステーション

12月28日(土)29日(日)はお休みします。
1月4日(土)から平常通り利用できます。



ご寄付御礼

香典返し 金一封

小松原千二様(前原自治会)

昌子公太様(瀬南自治会)

郷原孝浩様(フラーラン自治会)

吉原啓紀様(綿田原自治会)

岡田和久様(中溝自治会)

錦織 馨様(新橋自治会)

吉田正弘様(新生町自治会)

皆様からの寄せていただきましたお志は、荘原地区社会福祉事業に活用させていただきます。誠にありがとうございます。